

神海丸便り

令和8年5月20日

浜田港での様子

浜田港での実習生の様子をお伝えします。
実習生が全員集合し、本格的に作業や学習が始まります。



5月19日、航海中に使用する食品や物品の積込作業を行いました。





積込作業後、生徒食堂には自主的に学習する実習生の姿がありました。

積込作業でできなかった分の学習を行っているとのこと。4月に受検した海技試験の見直しをする生徒、持参したタブレットを利用して参考書をまとめる生徒等、取り組み方は様々です。





当直作業の様子です。漁業科の実習生は舷門での見張り作業や航海日誌の記入、機関科の実習生は機関の整備や機関日誌の記入を行っていました。1年生は2年生の指導を受けながら作業内容を確認しています。





夕食後、2年生が乗組員と一緒に筋トレを行っていました。

1年間の乗船実習を経て、乗組員との絆も深まっています。

1年生も今後の航海中、多くの乗組員と交流してほしいと思います。

乗組員は入港中に運輸局の皆様による監査を受けました。船員法や船舶の運航について、確認していただきました。

実習生が安全に実習を受けるためにも、このような機会は大切と考えています。

